

2 目標達成計画

作成日: 平成 28年 2月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	ホームの4原則の一つに「拘束しない」を方針としているが外出願望から玄関の外へ出かけようとされる利用者様に制止する場面があり、対応に検討の必要がある。	利用者様の望み(帰宅願望、外出願望等)の心理的状况を把握した上で思いに寄り添った対応することが出来る。	①外部講師による身体拘束に関する研修会参加と伝達講習会の実施。 ②「身体拘束の手引き」の読み合わせ会実施。	平成27年度内 平成28年度上半期
2	12	看取りの実績はないが看取り指針があり、法人内において看取りを実施している施設がある。	時代背景にて必要視されている看取りについて学習の機会を設け職員間で深めていきたい。	①看取り指針の読み合わせによる学習会。 ②看取りに関するDVD学習会 ③法人内の看取り実施施設からの情報収集	年度内
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。